

# 家庭科「保育基礎」学習指導案

静岡県立・・・高等学校  
授業担当者・・・

## 1 単元名 子供の福祉

〔指導項目〕 ウ 子供の福祉を支える場

## 2 生徒の実態（2年総合学科〇〇系列・被服室・在籍〇人）

子どもが好きで、将来は子どもと関わる仕事に就きたいと考えている生徒が多い集団である。そのため、同じような希望を持つ仲間意識も強く、授業にも前向きに取り組む姿勢があり、グループ活動での意見交換も活発に行うことができる。

本単元は、長期休業中に体験実習に行った児童福祉施設をイメージしながら、子どもの福祉を支える場としての役割や、それを支える方々の思いはもちろん、子育て当事者ではない地域の方々にも目を向けて、子どもが健やかに育つ環境を整えるために、高校生自分たちができることを考える力を育成していきたい。

## 3 単元の目標

- (1) 子供の福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## 4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
子供の福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

## 5 指導と評価の実際（8時間）

- (1) 児童観の変遷・・・・・・・・・・・・・1時間
- (2) 児童福祉の理念と関係法規・制度・・・・1時間
- (3) 子供の福祉を支える場①・・・・・・・・・・2時間
- (4) 子供の福祉を支える場②・・・・・・・・・・4時間（本時2／4時間）

時間	【ねらい】・学習活動	評価の観点			評価規準・評価方法
		知	思	態	
1	【ねらい】 児童観の変遷について理解する。			○ ※	※1～8時間目を通して子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 (ワークシート、行動観察)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供が保護・養育される権利をもち、尊重されるべき存在であると認識されるまでの歴史を知る。</li> </ul>	(●)			世界・日本の児童観の変遷について理解している。 (ワークシート)
2	<p>【ねらい】 児童福祉の理念と制度について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供の福祉の理念について理解し、歴史的な経緯を知る。</li> <li>・ 児童福祉法や児童福祉関連施設の概要とその役割について理解する。</li> </ul>	(●)	●		具体的な問題を通じて子ども福祉の必要性を考察し、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。 (ワークシート)
3 ・ 4	<p>【ねらい】 長期休業中の課題発表を通して、「子どもが健やかに育つ環境」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期休業中の課題を発表し、お互いに共有する。</li> <li>・ 「子どもが健やかに育つ環境」とはどのような環境なのか、自分の体験や発表会を踏まえて考える。</li> </ul>		●		自分の体験や仲間の発表を通して、「子どもが健やかに育つ環境」について自分の考えをまとめることができる。 (ワークシート)
5 ・ 6 (本時)	<p>【ねらい】 「子どもが健やかに育つ環境」は、すべての世代が健康・安全・快適に暮らせる環境を整えることが大切だと理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て当事者以外の方々の気持ちを想像する。</li> <li>・ ジグソー法で理解や考えを深める。</li> </ul>		●		子どもや子育て中の保護者だけではなく方々に触れ、すべての世代が快適に暮らすことが大切だと考えている。 (ワークシート)
7 ・ 8	<p>【ねらい】 「子どもが健やかに育つ環境」を整えるために、高校生ができることを提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「子どもが健やかに育つ環境」を整えるために高校生ができることを班ごとに考え、発表する。</li> </ul>		●		班で考えた「子どもが健やかに育つ環境」を整えるために高校生ができることを具体的に考え、提案することができる。 (ワークシート)

## 6 学校として幾瀬を目指す資質・能力との関連

本校では、「生徒一人ひとりが主体的に多様な学びを選択し、探究的に学習することを通して、地域社会の持続可能な発展に貢献し、たくましく生きる力を備えた人材の育成」をスクールミッションに掲げている。本単元の学習内容が、子育て支援をきっかけに地域社会に目を向け、持続可能な発展に貢献することが期待できる。

## 7 本時の指導と評価の実際

(1) 日時 令和〇年〇月〇日 (〇曜日) 第3・4校時

(2) 本時の目標

「子どもが健やかに育つ環境」について考える際、子どもや子育て中の保護者だけでなく、地域の方々の暮らしにも目を向け、すべての世代が健康・快適・安全に暮らせる環境を整えることが大切だと理解することができる。

(3) 本時の評価規準及び評価方法

イ 思考・判断・表現・・・子どもや子育て中の保護者だけではない方々に触れ、すべての世代が快適に暮らすことが大切だという表現ができています。

(4) 本時の教材

子どもが健やかに育つ環境について考える際、これまでは、子どもや子育て中の保護者中心に考えてきた。自分たちで行った公園調べ、インタビューやニュース映像、新聞記事等を活用して様々な立場の方々から見た子ども像について知り、子どもが健やかに育つ環境について広い視野を持って考えられるようにしたい。

(5) 指導と評価の実際

学習活動 (◇対話の方法 ◆思考のプロセス)	指導上の留意点	評価の実際
<p><b>【導入】(5分)</b></p> <p>1. 本時の目標を知る。(◆)</p> <p>2. 本時の解決したい課題や問いを知る。(◆)</p> <p><b>【解決したい課題や問い】</b> 「子どもが健やかに育つ環境」とはどのような環境だろう？また、すべての世代が健康・快適・安全に暮らせる環境について考えよう。</p>	<p>・ワークシートに記載した「本時の目標」を確認する。</p>	
<p><b>【展開】(90分)</b></p> <p><b>【考えるための材料】</b> 事前アンケート、公園立て看板画像(生徒自身で集めた看板も含む)、「公園廃止」のニュース映像、「子どもの声が騒音」新聞記事、身の回りの音(電車・ドライバー・ペットの鳴き声・赤ちゃんの泣き声・保育園の大勢の子どもの声)</p> <p>3. 事前アンケート(同学年生徒対象)結果を知る。</p> <p>4. ○○市の子育て支援について知る。</p> <p>5. 夏課題の公園調べでは、注意書き看板があり、公園使用のルールがあることを振り返る。</p> <p>6. ○○市で「ボール遊び禁止」となった公園の経緯を知る。</p> <p>7. ニュース映像を視聴し、自分で考えたことを記入する。(◆)</p> <p>8. ニュース映像、新聞記事、身の回りの音を聴く体験から、立場や状況が異なると音の感じ方が違うことを知り、ワークシートに「もしも、公園の隣に住んでいたら」それぞれの立場で気持ちを想像して記入する。(◆)</p>	<p>・生徒が集めた画像を使用し、自分にも関係が深いと意識できるようにする。</p> <p>・実際に放映されたニュース映像や新聞記事を使用し、より身近な問題と理解できるようにする。</p> <p>・ワークシートには、様々な立場の方々を設定し、地域の方々の暮らしを想像できるようにする。</p>	<p><b>【思考・判断・表現】</b> 子どもや子育て中の保護者だけではない方々に触れ、すべての世代が快適に暮らすことが大切だという表現ができています。 (ワークシート)</p>

<p>9. 記入したことをグループで共有した後、感じたことを記入し、もう一度グループで共有し、代表者が発表する。(◇)</p> <p>10. 事前アンケートで「高校生、子育て中の 人、高齢者、障害のある人にとって暮らしやすい地域や町の条件はそれぞれ違う」と86%が答えているが、それは本当か考える。(◆)</p> <p>11. ジグソー法の説明後、エキスパート活動 (◇)</p> <p>A 子育て支援 B 公園の利用について C 騒音について D 地域住民</p> <p>12. 担当資料を決め、班に分かれる。同じ資料を読むメンバーの中でさらに3～5に担当を分ける。まず各自が資料を黙読・ワークシートに特に気になったことや大事なところを書き出す。その後、共有。以下の内容について班で話し合ってみる。 「子どもが健やかに育つ環境」をつくるために、①保護者や子どものため、②その他の近隣住民のためにどのような工夫ができるか、どのような工夫をしたらよいか。</p> <p>13. ジグソー活動 (◇) 元の班に戻り、A～Dの担当ごと発表して共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立場ごとに分けられたスライドを使用し、「これはおかしい」と気づき、地域全体が満足することが大切だと気付けるようにする。</li> <li>・ジグソー資料に、生徒が収集した画像やインタビュー内容を使用し、自分にも関係が深いと意識できるようにする。</li> <li>・資料の読み取りが難しい場合には、机間巡視して助言する。</li> <li>・共有がうまく進んでいないグループには、机間巡視して助言する。</li> </ul>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>ジグソー資料を読み込み、活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>(行動観察)</p>
<p>【まとめ】(5分)</p> <p>14. 次回の授業について知る。(◆)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の学習について伝える。</li> </ul>	

【学習の成果 (予想される生徒のあらわれ)】

- ・自分は子どもが好きだし、子どもの声は気にならなかったが、同級生や地域に暮らしている方々の中には、子どもの声が騒音だと感じる人もいる。自分も置かれている状況次第で騒音だと感じることもあるかもしれない。
- ・これまでの学習や、夏休み中の子育て支援施設訪問体験を経て、子育て支援を第一に考えることが大切だと思っていたが、地域に暮らしている全ての人が気持ちよく暮らすことにも目を向ける必要があると分かった。

観点	「おおむね満足できる」状況 (B)	「十分満足できる」状況 (A)	(C) と判断した生徒への指導の手立て
思・判・表	子どもや子育て中の保護者だけではなく方々に触れた表現ができています。	(B) に加え、すべての世代が快適に暮らすことが大切だという表現ができています。(ワークシート)	事後の授業で、振り返りを行い、他の生徒の記述を紹介する。その際、子育て支援は、子どもや子育て中の保護者だけでなく、地域に暮らしている方々の暮らしにも目を向けなければならないことを確認する。